

世界人権宣言70周年を記念し

1年間の差別事件を共有し、さらなる差別撤廃をめざす 差別事件報告集会

世界人権宣言70周年を記念し、2018年度差別事件報告集会と合同で12月7日、プラザホープでひらき、実行委員会や県共闘会議、友好団体、行政、同盟員など約230人が参加し、1年間で発生した差別事件を共有した。



世界人権宣言70周年をむかえ、反差別の先頭にたつて尽力することを誓う田上武・実行委員会会長

はじめに、主催者を代表して田上武・部落解放・人権行政確立要求和歌山県実行委員会会長から「今年、世界人権宣言70周年。日本は、他国に攻撃を加え、あの惨たらしい第2次世界大戦が勃発した。ナチスはユダヤ人差別を悪用しユダヤ人への虐殺は50万人にもなった。戦争ほど人権侵害はない。今日まで、反差別の運動を70年間つづけてきた。そのような事象をへても、いまだに差別を訴えなければならぬという今、これを契機に改めて私たちに力を貸してください。反差別の先頭に立って今後と

も頑張っていくことを心よりお願い申し上げます」とあいさつした。つづいて、来賓よりあいさつをうけ、第1部「世界人権宣言70周年記念講演会」として「世界人権宣言70周年から人権を考える」とだいたし、谷口真由美・大阪国際大学准教授兼大阪大学非常勤講師から講演があった。講演で谷口・准教授は、12月のはじめの人権週間は、世界人権宣言が採択された12月10日を記念したもので、さまざまな人権に関心をもつ機会としていく。また、今年にはメモリアルイヤーで、明治維新150年。明治維新から社会契約として成立した。社会とは、われわれ自身が固く誓ってつくったにもかかわらず、誰かに任せたらなんとかなるとか、面倒くさいから難しいことは誰か決めて、従うからという人もあるが、それは王権神授と同じ。よっ



谷口真由美・准教授



野口道彦・理事長

ぼど自覚しないと社会契約を生きることがすらかわらない。責任をもって人の権利が大事と思うように、私の人権も大事にする平等という概念は、勉強しないといけない。人権も学習でしかわからないとさまざまな視点からわかりやすく講演された。つづいて、宮本修作・県連書記長から、第2部和歌山県内における部落差別の現状と課題として「基調と県内で発生した差別事件」とが報告された。最後に、第3部差別事件報告集会記念講演会として「結婚差別にあった時、どう対処すればいいのか?」―結婚差別の社会学―として、野口道彦(一社)和歌山人権研究所理事長から、研究報告があった。野口理事長

は、結婚後の苗字をどちらにするかをじゃんけんし、結婚は集団内部の規範、いわゆる優等生が差別を生むことを説明。部落や外国人、障がい者などの属性を理由に「やめたほうがいい」という意見がでてくる。差別していることを自明視していることを気づかせ、差別を正当化する根拠を問い、差別の無根拠性をあきらかにし、差別していることを相手に自覚させることが大切

と説明された。

各支部旗びらき

- 1/4 新宮
- 1/5 善明寺、杭ノ瀬
- 1/9 湯浅
- 1/10 平井
- 1/12 那賀、岩出
- 1/13 岩橋、古和田
- 1/15 広川
- 1/16 御坊、荻原
- 1/18 有田市
- 1/19 笠田東

命保険相互会社和歌山支社、林秀樹・三菱UFJ信託銀行(株)大阪支店、新美嘉浩・明治安田生命保険相互会社和歌山支社、中野剛一・UDトラックス(株)、野口宗宏・県職員労働組合執行委員長、長田吉文・自治労和歌山県本部執行委員長、南喜貴・JP労組和歌山連絡協議会議長、真珠規員・NTT労働組合和歌山分会事務局長、上杉貴夫・本州化学労働組合副執行委員長、野田拓也・日教組和歌山執行委員長、南出進昭・日教組和歌山書記長、土井敏弘・和歌山県町村会事務局長、藤井幹雄・県連顧問弁護士、森正樹

〔祝電〕

●国会議員
二階俊博・衆議院議員、石田真敏・総務大臣 衆議院議員、世耕弘成・経済産業大臣 参議院議員、浮島智子・文部科学副大臣 衆議院議員、岸本周平・衆議院議員、門博文・衆議院議員、鶴保庸介・参議院議員

●市町村長

望月良男・和歌山県市長 会長 有田市市長、神出政巳・海南市長、平木哲朗・橋本市市長、真砂充敏・田辺市長、寺本光嘉・紀美野町長、井本泰造・かつらぎ町長、岡本章・九度山町長、平野嘉也・高野町長、松本秀司・日高町長、久留米啓史・日高川町長、井潤誠・白浜町長、岩田勉・すさみ町長、田嶋勝正・串本町長、山口賢二・北山村長

●県・市町村議会

藤山将材・和歌山県議会議長、岸本健・同議会議長、長坂隆司・同議会議員、小川浩樹・田辺市議会議長、新堀行雄・かつらぎ町議会議長、西尾智明・白浜町議会議長、大石哲雄・上富田町議会議長、寺町忠・串本町議会議長

●各種団体

谷口和樹・立憲民主党和歌山県連合代表、森田敏行・和歌山県商工会連合会会長、奥田均(一社)部落解放・人権研究所代表理事、谷川雅彦・同研究所所長 (順不同・敬称略)